



富士ワイズメンズクラブは「**社会を明るくする運動富士市推進委員会**」の加盟団体です

国際会長主題	ウルリック ラウドセン	輝かそう あなたの光を
アジア太平洋地域会長主題	利根川恵子	変革のための光となろう
東日本区理事主題	山田公平	未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自身を育み、真の喜びに出会う！
富士山部部長主題	榎本 博	NEO 富士山部
富士クラブ会長主題	吉澤廣美	心とからだ、元気で奉仕！

会長	吉澤廣美
副会長	仁藤斎浩
書記	高野 亨
会計	小澤嘉道
直前会長	菊池初彦
担当主事	金井 淳

2023年  
9月 会報

9月協調月間  
EMC

巻 頭 言

★2023年9月例会★

と き 2023年9月13日(水) 18:30～  
と ころ ホテルグランド富士 (0545-61-0360)  
受 付 高野 亨君  
司 会 金井 淳君

- 1. 開会点鐘 吉澤廣美会長
- 1. 開会の挨拶 小澤嘉道君
- 1. ワイズソング・ワイズの信条 司会
- 1. 東日本区理事、富士山部長、会長主題の唱和
- 1. 会長挨拶 吉澤廣美会長
- 1. ゲスト・ビジターの紹介 吉澤廣美会長
- 1. 誕生日
- 1. 各委員会・書記・会計・事務局報告
- 1. 食前の感謝・乾杯 鈴木靖巳君
- 1. 卓話 金井 淳君
- 富士山 YMCA SDG s キャンプ報告
- 1. 誕生日
- 1. 出席率・スマイル・CS 基金報告
- 1. 閉会の挨拶 岩辺富雄君
- 1. 閉会点鐘 吉澤廣美会長

例会後、役員会を開催します

9月 Happy Birthday

該当者なし

8月例会報告

在籍会員	13名	例会出席者	8名	スマイル基金	8,000円	CS基金	0円
休会会員	1名	出席率	66%	スマイル累計	96,000円	CS累計	700円
担当主事	1名	ゲスト	名	ビジター	名	総出席者	8名

「NEO」＋「会員増強」

富士山部部長 榎本 博 (伊東クラブ)

富士山部部長の職を自分自身が「楽しもう」と決めた今期は、失敗を恐れずに自分の「Can」を増やし「Will」を見つけるつもりです。「Can」とは「自分ができること」・「Will」は「自分がやりたいこと」です。主題として掲げた「NEO富士山部」今までにあった物の新しい形を追求し、数多くあるワイズメンズクラブの「素晴らしい」をSDGsとして、柔軟に変化を加えたいと思います。ワイズメンズクラブの「DNA」や各クラブの「伝統・文化」である価値観や奉仕への献身は変えるべきではありませんが、次代を考え効率的な組織を既成概念にとらわれず考えていく事が必要な今、「変化の推進者」になってチャレンジしていくつもりです。

今期の増田会員増強事業主査の主題は「希望を持ち続けよう」です。事業方針の「もうコロナのせいにはできませんので各クラブ、各メンバーは真剣に会員増強に努めましょう。ワイズの将来への発展は会員増強あってこそです」と言われています。富士山部(各クラブ)の独自の事業は自他ともに認める魅力があります。その魅力を次代へ繋げる為にも、「NEO」＋「会員増強」共々、宜しくお願い致します。

## 8月例会報告

8月例会が定刻どおりホテルグランド富士で開催されました。司会の仲澤君の進行で、吉澤会長の開会点鐘に続き、岩邊君の開会の挨拶があり、吉澤会長の挨拶がありました。今月はゲスト、ビジターはいませんでした。8月の誕生日はいませんが、7月の合同例会に出席していたが、会場が盛り上がり、なかなかお祝いする機会がなくてできなかった7月誕生日の鈴木靖巳君のお祝いを遅ればせながらさせていただきました。書記報告やスマイル報告、出席率報告があり今月は納涼例会なのでこれをもって例会は終了となり、高野君の食前の感謝と乾杯で納涼会は始まりました。1つのテーブルに4人掛け、これが2テーブルは少し広々としすぎて会話もなんとなく弾まないようで、アルコールの量もなかなか進まないようでした。やっぱり酒席は大人数がいいですね。会話も弾むしお酒もどんどんいけるので盛り上がります。8人では黙々とお酒を飲むしかないようです。このような時、井上君と菊池君の早い回復とクラブへの復帰が望まれます。そして漆畑君は毎日懸命のリハビリで早く回復していただき例会出席が待たれます。それと長期欠席の市川君の例会と事業の出席が待たれます。そして何より、新入会員の入会式を何回でも何回でも実現したいですね。特に女性会員の入会予定者がいましたら例会や事業にお誘い下さい。



7月誕生日の鈴木君



納涼会の様子

(富士クラブ納涼例会出席者 吉澤・高野・鈴木・仲澤・小澤・岩邊・仁藤・増田) (増田 記)

## 役員会報告

富士クラブ8月役員会議事録

書記 高野 亨

2023年8月9日 ホテルグランド富士

- 第49回富士山部部会が2023年10月14日に伊東市のサザンクロスリゾートで行われる予定のアナウンスがありました。詳細な案内と申込書は後日に連絡致します。共に10月15日にサザンクロスリゾートで富士山部親睦ゴルフコンペも企画されております。
- 8月8日に富士山YMCAにより富士市今井海岸清掃が行われました。富士クラブからも6名が参加し総勢23名で行いました。富士山YMCAより協力費としまして、1万円を頂きました。
- 東日本区へ東日本区と西日本区のロースターを1冊ずつ発注致しました。

## マイタイム

岩辺 富雄

先日本を読んでいまして、「お金で買えないものを大切にすることを養う」との記事が載っていました。

今では大抵の物はお金を出せば手に入れる事が出来る時代に成りました、お金の有る人は自分の代理として戦争に行かせる傭兵も在り、又外国にまで行って臓器移植を受けて来る事も出来る時代に成りました。でも信頼・親友・名誉・ボランティアなど買っても買えない物は存在します。

その素質を身に付ける為には自分自身を修養し人の気持ち立場を理解し思いやる心を持つような、慈悲の心を持ち、なお、活の入れられる様な人に成れる様、一人一人が徳の有る仁の心を持てる様に日々努力する事が肝要です。

又動物には生れながらに持っている、食べて行く(ネガティブ)の脳が有るが、人間には人しか持っていない前向きに考える脳(ポジティブ)が備わっているので、その脳(大脳新皮質)を育てて行けば人の好い所を理解する事が出来、そして人を喜ばせ楽しい事ができるし、人の欠点ばかりに目の行く事も無くなり争いも無くなり風通しの良い社会に成る様な気がします。

孔子の言葉に「積善の家に余慶あり」の言葉の通り私達のクラブにも「積善のクラブにも余慶あり」を実現したいと思ひます。

会費未納の方はお早めをお願いします

年会費納入のお願い

振込先銀行 富士信用金庫 吉原支店

口座番号 (普通) 0454394

口座名 富士ワイズメンズクラブ

会計 小沢嘉道

会計 小沢嘉道

# 海岸清掃報告

CS 事業委員長 金井 淳

8月8日(火)に鈴川海岸で海岸清掃を行いました。今回は普段から参加をしているワイズ4名とボランティア1名に加え、当日富士山YMCAで開催されていた「富士山と海を守ろう!SDGs キャンプ」に参加をしている小学生~中学生18名とボランティアリーダー・スタッフ6名も参加しての実施となりました。台風の影響による波と風で、いつも以上の漂着ゴミがあり、厳しい暑さのために短時間の実施となったため、拾いきれないゴミが多くありましたが、大人数での実施だったので多くのゴミ袋が満杯となるほどでした。最後に吉澤会長から子どもたちへメッセージをいただき、普段住んでいるところから流れつくゴミが多いことなど、子どもたちは多くのことを学べたようです。



清掃活動後の達成感!やったあー!



袋が一杯になりました



## 海岸清掃に参加して

仁藤 斎浩

暑いと大変な作業だな、年も年だし、なんて思いながら毘沙門天南側の海岸に到着しました。海岸を見渡すといつもよりゴミが多いのに気づきました。参加人数も少ないし今日は大変だ、なんて考えていたらいつも来てくれる友人の松浦君がひょっこり現れました。本当にありがたいと口には出しませんが心から感謝しました。これも毘沙門天のご利益かなあと思いました。



### 相変わらずペットボトルが多かった

今回の清掃作業は、環境学習で富士山YMCAの子どもたちも大勢参加していただき、海岸は子供たちの元気な声と動きで見る見るうちにプラごみが片付いていきました。それにしても毎回の清掃作業時のプラごみの多さに驚きます。8月の一番暑いこの時期、事前に富士山YMCAの金井さんと暑くなる前に早めに終了しようということで9時30分から開始して10時10分ごろ終了としました。



### 吉澤会長から海岸のゴミの話聞く子供たち

海岸ゴミの清掃作業が終わり、吉澤会長より、海岸のゴミのことについてお話をしていただき、子供たちは熱心に聞いていました。ある子供のペットボトルのラベルを見せてもらおうと、そこには見慣れない文字が書いてあり中国語と分かりました。今回短い時間でしたが子どもたちは海岸ゴミについていろいろ学び、環境ということに関心を持ってもらうことができたらこれからの社会や環境は良くなっていくことなのでしょう。参加されたメンバーのみな様、松浦君そして子供たちとリーダーのみな様、ありがとうございました。

## 警戒レベル④

### 全員避難だ！ 増田 隆

さる8月16日朝9時5分に、富士市の災害無線で土砂災害警戒区域にある2,680世帯、6,173人に避難指示が出ました。5段階の警戒レベルのうち、警戒レベル4の情報で危険な場所から全員避難するように呼び掛けています。その危険な川とは、我が家のすぐ北側を流れ、普段は鴨たちが戯れている穏やかな川、小潤井川です。驚いて家を飛び出し、土砂降りの中、家族が止めるのも振り切って裏の川を見に行きました。堤防すれすれのところを赤茶けた濁流がうねりながらものすごい勢いで下流に流れていく様は、何故かテレビの災害ニュースを見ているような錯覚に陥り、他人ごとのように思っていた災害の恐ろしさが現実として、ここに発生しかかっているのだ、と恐怖で足が震え、どうやって家に帰ったのか記憶にありませんでした。



水量がだんだん増水していく小潤井川の様子



普段の穏やかな流れの小潤井川

このまま雨が降り続いたら避難場所へ避難しようと家族で話し合いをしていると、いろいろ疑問点が出てきました。避難場所までどうして行く？ ペットの愛犬はどうする？ 食料は？・・・。日ごろそのようなことは家族で話したことがないので、いざという時このように躊躇してしまいます。しかし躊躇している時間はないのです。外はお陰様で雨も小降りになり警戒情報も解除されましたが、災害はいつ起こるかわかりません。日ごろから避難ルートや家族との連絡方法等、真剣になって話し合いをして災害に備えたいものです。

## 富士山YMCAだより

富士山 YMCA 金井 淳



今年の夏も、横浜YMCA サマーキャンプが行われ、152名の幼児から中学生までの子どもたち、38名のボランティアリーダーが富士山YMCAで過ごしました。16年目となった富士山YMCAでは、小学生の頃に富士



山YMCAのキャンプに参加をしていたという子どもが、大学生になりボランティアリーダーとして、キャンプに帰ってくるようになってきました。子どもの頃に見たリーダーに憧れ、次は自分がリーダーとして子どもたちのために働く、そのようなバトンのつながりを受け、YMCAキャンプは100年以上続いてきました。未来の子どもたちへのプレゼントととして、富士山YMCAとYMCAキャンプが今後も続いていくことを祈ります。

